

特集

4

各地域での活動

地域に根ざした

独自の活動を 進めています

ジャパンビバレッジは、各地域・部署毎に独自の活動を行っています。
ここではその一例をご紹介します。

各地域での清掃活動の取組み

ジャパンビバレッジは各部署で地域の清掃活動に取り組んでいます。活動内容は、定期的な事業所近隣のゴミ拾いや清掃の実施。行政や地域団体が実施する清掃イベントにも参加をしています。

事業所近隣の環境美化、そして地域社会への貢献につなげていければという思いのもと取り組んでいます。



まるごと沖縄クリーンビーチへの参加
(株式会社ジャパンビバレッジ沖縄)



事業所の近隣清掃活動
(株式会社ジャパンビバレッジイースト日立支店)



四谷ゴミゼロデーへの参加
(株式会社ビジネスサポートワークス)



事業所の近隣清掃活動
(株式会社ジャパンビバレッジエコロジー)

株式会社ジャパンビバレッジエコロジー(リサイクル・プラザJB)

工場・事務所の照明のLED化

リサイクル・プラザJBは、工場・事務所内の照明をLEDに交換しました。その結果、照明の電気使用量を約2/3削減することができました。

また、これまで工場内で使用していた水銀灯に比べ、照明器具の交換頻度が低くなるだけでなく、発光効率約1.5倍になり工場内がより明るく安全になりました。これからも明るい作業環境の中で従業員一同、リサイクル事業に取り組んでまいります。



交換前



交換後

株式会社ジャパンビバレッジ東京 八千代支店

お客様に喜ばれる 自動販売機をつくるために

お客様に喜ばれる商品をそろえ、かつ売切れを出さない自動販売機にするためにはどうすればよいか。ルートセールスは、自動販売機巡回時に売上データなどを見て随時対応を行っています。

八千代支店ではそのスキルを高めるための独自の研修を行っています。1台の自動販売機を例に、そのデータから改善する点がないか各自の考えをまとめ、皆で意見交換を行います。自分では気が付かなかったことや細かい改善点などが出てくるので、今後の巡回業務にもそれが活かされていきます。このように自動販売機の「PDCA」サイクルをまわして、より皆様に喜ばれる自動販売機を目指し今後も取組んでまいります。



意見交換の様子



朝出発前に定期的に研修

株式会社ジャパンビバレッジセントラル 横浜支店

全員参加の「良化プロジェクト」の取組み

横浜支店は、事業に関わる7つの重点事項（「食の安全」、「車輛事故撲滅」、「商品管理」など）について、より成果をあげるため、それぞれプロジェクトをつくり活動する「良化プロジェクト」を実施しています。毎月各プロジェクトで討議や講習などを実施し、その内容を支店全体に周知・啓蒙をしていきます。例えば「風紀接遇身嗜みプロジェクト」では、支店内の清掃を徹底するため「ゴミを拾おうキャンペーン」を立案したり、お客様先での挨拶を徹底するために、プロジェクトメンバーが率先して挨拶啓蒙を実施したりしています。全所員がいずれかのプロジェクトに所属し、「全員参加」で支店を盛り上げていけるように取組んでいます。



各プロジェクトで毎月討議を実施



「風紀接遇身嗜みプロジェクト」メンバー